



金属アレルギーと 日常生活 ○

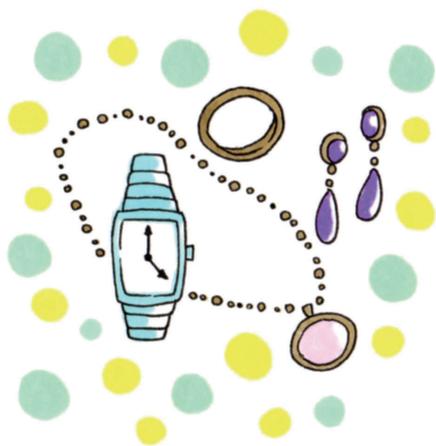
金属アレルギーとは

金属アレルギーの症状としては、痒みが強く、原因物質と接触した部位を越えて皮膚炎が広がります。また、発赤、腫れに加えて小水疱を生ずることもあります。金属アレルギーと言うと一般的に思い浮かべるのは「女性とアクセサリー」でしょう。金属アレルギーでかゆい、と言われれば、アクセサリーを身につけなければ良いと判断されがちですが、女性の立場からすると反論すべき点です。女性はライフスタイルやイベントシーンごとにアクセサリーでおしゃれをしたくなる事がありますが、金属アレルギーの方はそれを諦めなければならない、もしくは試行錯誤で「経験でこれならつけられる」というものを大事にとっておくようです。

なお、金属アレルギーによるかゆみはアクセサリーだけではなく、被服に付いたジッパーや素足で履くサンダルにも金属の金具がついていればもうそれだけでかゆくなってしまいます。

日常生活における金属アレルギー対策のポイント

では、金属アレルギーを実際に持っている方は普段の生活でどのように気をつけたらよいのでしょうか。例えば、自身で自分がどの金属が苦手なのか皮膚科にて金属アレルギーパッチテストを受けるのも良いでしょう。また、汗をかくとわかっている時にはなるべくアクセサリー、ヘアピン、腕時計などの金属を身に付けないなど、自分でコントロールすることも可能でしょうし、既にパッチテストを受けてれば、金属製品や化粧品などを購入時、メーカーに製品の金属成分を問い合わせる事も出来ると考えられます。



金属アレルギーは発症させないように気を使うことの出来るアレルギーの一種でも考えられます。このアレルギーは汗などによって金属が溶け出しイオン化し、それが皮膚のケラチン等のたんぱく質と結合してアレルギーになります。ですから、多くの発症のきっかけは「ピアスによる穴あけ」や「歯科治療の金属詰め物」と言われています。したがって、むし歯を造ることはいいことはないのですが、金属アレルギーを発症しないようにという観点からも重要です。